

各位

会社名 株式会社レーサム
 代表者名 代表取締役社長 小町 剛
 (コード番号：8890 東証スタンダード市場)
 問合せ先 上級執行役員管理本部長 沖野 総司
 電 話 03-5157-8881

通期連結業績予想と実績の差異（上方修正）及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表した2024年3月期の連結業績予想と本日公表した実績に差異（上方修正）が生じたとともに、特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

あわせて、連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の各項目において業績予想を上回るとともに、1992年5月の当社創業以来、過去最高の業績となりましたことをお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績の差異について

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想と実績の差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2023年5月12日公表)	90,000	18,000	16,800	11,000	384.63
実績値 (B)	94,265	22,824	21,878	11,513	406.28
増減額 (B - A)	4,265	4,824	5,078	513	—
増減率 (%)	4.7%	26.8%	30.2%	4.7%	—
前期実績 (2023年3月期)	67,906	14,371	12,851	8,376	269.72

(2) 差異の理由

連結売上高につきましては、主力の資産価値創造事業において順調に販売実績が積み上がり、大型物件の販売も複数実現したことから、業績予想を4,265百万円上回る94,265百万円（増減率+4.7%）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え、当初想定よりも高い利益率での物件販売が実現したことから、営業利益は業績予想を4,824百万円上回る22,824百万円（増減率+26.8%）、経常利益は業績予想を5,078百万円上回る21,878百万円（増減率+30.2%）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の増益要因の一方で、後述の通り特別損失を計上したことから、当初業績予想を513百万円上回る11,513百万円（増減率+4.7%）となりました。

2. 剰余金の配当について

本日開催の当社取締役会で決議し、2023年5月12日に公表した配当予想のとおり、1株当たり175円の配当を実施いたします。

3. 特別損失の計上について

当社連結子会社の株式会社レイパワーにおいて、多発する自然災害に対応する非常用ガスエンジン発電機の製造・販売に取り組んでおります。小型機、大型機の2つのラインナップを取り揃え、小型機はすでに販売を開始、大型機についても開発及び初号機の販売が完了しておりますが、今後の安定的な生産、保守と本格的な販売拡大に取り組むためには、現在の体制を抜本的に刷新し、新たな生産・販売体制の再構築が必要となったことから、本日開催の当社取締役会の決議を経て、当事業における全ての棚卸資産、固定資産を対象とし、関係会社事業再構築損失3,049百万円及び減損損失209百万円を計上することといたしました。自然災害の多い日本において、当社の非常用ガスエンジン発電機には、軽量、小型、環境にやさしい、という強みがあり、多くのニーズ、お問い合わせをお寄せいただいております。事業基盤を整えた上で、災害時への備えを求める医療施設、高齢者向け施設、全国各地の避難所などのニーズに応じてまいります。

また、当社では、日本の複数都市においてコミュニティホステルを中心とする宿泊事業に取り組んでおります。新型コロナウイルス禍の最中においても需要回復期に備えて必要な改修工事等を行い、休業することなく運営を続けてまいりました。新型コロナウイルス禍の収束に伴う国内人流の回復により、当社宿泊事業の売上高は前年比で増収基調にありますが、収益回復が遅れている施設の固定資産等につき、保守的に減損損失1,329百万円を計上することといたしました。今後は、国内宿泊客の獲得に加えて、2024年3月に単月で初めて300万人を超えたインバウンド（訪日外国人）の需要も捉え、事業拡大と収益化に取り組んでまいります。

以上